━ 株主メモ

事	事業年度			度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定	時	株 🖻	È 総	슾	毎年5月
基定		準 総会・ 間 配	· 期末配 :当)	日	毎年2月末日 毎年8月31日 なお、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
	主名		管 理	人機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵		物 运	送 付	先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 0120-782-031(フリーダイヤル)
単	元	株	式	数	100株
公	告	Ø	方	法	当社のホームページに記載いたします。 http://www.twinbird.jp/
上	場	取	31	所	東京証券取引所

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関で ある三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ツインバード工業株式会社

〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2 TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582 ぜんぶはない。 だから、ある。

TWINBIRD



the state of the s

ツインバード工業株式会社

証券コード 6897

━ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第60期第2四半期(2021年3月1日から2021年8月31日まで)の事業概況につきましてご報告申し上げます。

当社グループは、昨年4月に公表いたしました中期経営計画2020-2022において、事業構造を筋肉質に転換、強化した財務体質を活用し収益事業で成長を目指しております。中期経営計画の2年目にあたる当期の上期では、コロナ禍の逆風ながらも、ピンチはチャンスと捉え主要施策の実現に取組みました。家電製品業では商品点数の絞り込みや、巣ごもり需要の取り込みなどにより、売上総利益率の改善を実現いたしました。また、FPSC(フリー・ピストン・スターリング・クーラー)事業における厚生労働省からのワクチン運搬庫の大型受注が業績を大きく牽引いたしました。

さて、下期以降は、家電製品事業、FPSC事業、DX ともに積極的な投資を推進し、ビジネスモデルの変革を加速してまいります。

家電製品事業は、戦略的投資を果敢に実施し新たなステージへ変革してまいります。ターゲットユーザーである単独少人数世帯のシンプルでこだわりのあるだいております高級全自動コーヒーメーカーに次ぐ、市場創造型の高付加価値商品を順次積極的に投入いたします。加えて、お客様との継続的なコミュニケーションを強化してファンづくりを進めるとともに、従来のリアルの販売チャネルに加えデジタルマーケティングを最大限活用したD2Cの拡大により、TWINBIRDブラ

ンドの価値向上と収益性の改善を実現してまいります。 FPSC事業は、持続的な成長のための取組みを国内外で強化してまいります。国内ではアフターサービスなどにより安心安全のワクチン接種に貢献しつつ、国内の成功実績を基に、JICAやWHOを始めとする国際機関などを通じて、ワクチン接種が遅れている地域(アジア、アフリカなど)でのコールドチェーン構築などグローバル展開を加速してまいります。また、今後市場が薬大していく最先端の治療薬(抗体医薬品や細胞治療薬など)の分野に範囲を広げ事業の拡大を企図してまい

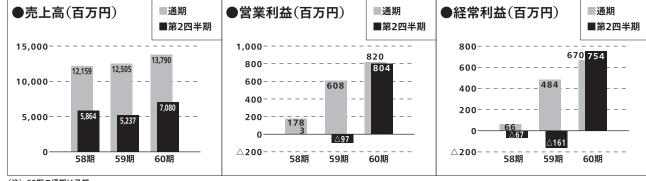
当期の中間配当につきましては、当初計画の普通配当1株当たり3円とさせていただきました。なお、通期では、1株当たりの普通期末配当9円に加え、創業70周年記念配当として1株当たり3円と合わせて、年間配当15円(前期比3円増配)を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ります。

2021年11月

ッインバード工業株式会社 代表取締役社長 野水重明



(注) 60期の通期は予想。

- 事業の概況 ─当第2四半期の業績

当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は7,080百万円となり、前年同期比1,842百万円の増収(増減率35.2%)となりました。利益面につきましては、営業利益は804百万円、経常利益は754百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は492百万円となり、前第2四半期連結累計期間よりいずれも黒字転換を実現いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①家電製品事業

家電製品事業におきましては、緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大などによる販売店への来店者数の減少及び消費マインドの低下の影響を受け、家電量販市場向けの売上が足元で減速しました。一方、ホテルや病院向けの業務用家電及びOEM製品等のソリューションビジネスは、前期において新型コロナウイルスの感染拡大にる影響を大きく受けておりましたが、当第2四半期連結累計期間におきまして順調に回復しております。また戦略的なSKU(商品点数)削減等により収益性が継続的に改善しており、家電製品事業における売上総利益率は影になり、前年同期比1.9pt上昇しております。この結果、家電製品事業の当第2四半期連結累計期間における売上は5,262百万円となり、前年同期比183百万円の増収(増減率3.6%)、セグメント利益は478百万円となり、前年同期比175百万円の増益(増減率57.8%)となりました。

※家電製品事業に関する四半期業績の特性について

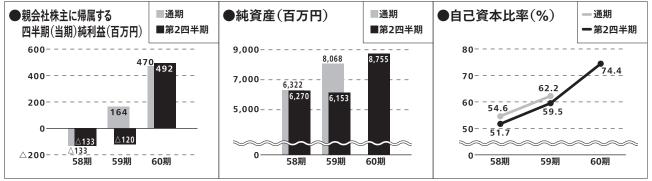
家電製品事業につきましては、年末年始商戦や新生活 商戦における販売需要が最も多くなるため業績に季節的 変動があり、売上高及び利益は第4四半期連結会計期間 に集中する傾向があります。

②FPSC(フリー・ピストン・スターリング・クーラー)事業 FPSC事業につきましては、SC-DF25WL(新型コロナウイルス感染症ワクチン用ディープフリーザー)について武田薬品工業株式会社向け大型案件の出荷を4月にて完了し、さらに厚生労働省からの追加受注につきましても7月に出荷をいたしました。これらの製品はモデルナ社ワクチンの主な接種先である医療機関や職域接種会場等への輸送・保管用に使用されており、新型コロナウイルスの感染拡大防止に貢献しております。この結果、FPSC事業の当第2四半期連結累計期間における売上高は1,817百万円となり、前年同期比1,659百万円の増収(約12倍)、セグメント利益は807百万円となり、前年同期比781百万円の増益(約31倍)となりました。

(2021年3月1日~2021年8月31日)

(通期連結業績予想)

売上高 13,790百万円(前期実績 12,505百万円) 営業利益 820百万円(前期実績 608百万円) 経常利益 670百万円(前期実績 484百万円) 親会社株主に帰属する 当期純利益 470百万円(前期実績 164百万円)



(注)60期の通期は予想。

四半期連結貸借対照表

現金及び預金 2,369,968 1,57 受取手形及び売掛金 2,963,902 1,48 商品及び製品 2,022,756 2,71 仕掛品 424,964 49 原材料及び貯蔵品 451,769 46 その 他 280,228 37 貸 倒引 当金 △12,325 △	
流動資産 8,501,265 7,09 現 金 及 び 預 金 2,369,968 1,57 受取手形及び売掛金 2,963,902 1,48 商 品 及 び 製 品 2,022,756 2,71 仕 掛 品 424,964 49 原 材料及び貯蔵品 451,769 46 そ の 他 280,228 37 貸 倒 引 当 金 △12,325 △	4,243 3,501 1,906 8,705
現金及び預金 2,369,968 1,57 受取手形及び売掛金 2,963,902 1,48 商品及び製品 2,022,756 2,71 仕掛品 424,964 49 原材料及び貯蔵品 451,769 46 その 他 280,228 37 貸 倒引当金 △12,325 △	4,243 3,501 1,906 8,705
受取手形及び売掛金 2,963,902 1,48 商品及び製品 2,022,756 2,71 仕掛品 424,964 49 原材料及び貯蔵品 451,769 46 その他 280,228 37 貸倒引当金 △12,325 △	3,501 1,906 8,705
商品及び製品 2,022,756 2,71 仕掛品 424,964 49 原材料及び貯蔵品 451,769 46 その他 280,228 37 貸倒引当金 △12,325 △	1,906 8,705
仕掛品 424,964 49原材料及び貯蔵品 451,769 46 その他 280,228 37 貸倒引当金 △12,325 △	8,705
原材料及び貯蔵品 451,769 46 そ の 他 280,228 37 貸 倒 引 当 金 △12,325 △	
そ の 他 280,228 37 貸 倒 引 当 金 △12,325 △	4,067
貸 倒 引 当 金 △12,325 △	
	3,894
田中次主 4.70.403 4.60	6,511
固定資産 4,470,402 4,66	5,503
有形固定資産 3,862,265 3,83	0,060
建物及び構築物(純額) 1,227,856 1,24	2,721
機械及び装置(純額) 153,489 13	8,251
金型 (純額) 137,956 12	0,253
工具、器具及び備品(純額) 101,498 10	3,404
土 地 2,056,499 2,05	2,465
建 設 仮 勘 定 5,413 1	7,488
その他(純額) 179,552 15	5,474
無形固定資産 119,922 12	7,047
投資その他の資産 488,215 70	8,396
投 資 有 価 証 券 198,629 46	3,330
そ の 他 319,663 27	5,142
貸 倒 引 当 金 △30,077 △3	0,076
資 産 合 計 12,971,668 11,76	

	_	(単位:千円)
科目	前期末 2021年2月28日現在	当第2四半期末 ^{2021年8月31日現在}
負 債	の	部
流動負債	3,277,378	1,654,694
支払手形及び買掛金	451,891	215,297
短 期 借 入 金	1,050,000	-
1 年内返済予定の長期借入金	666,542	538,601
リース債務	99,316	95,679
未 払 法 人 税 等	169,720	283,875
未払消費税等	63,349	25,500
賞 与 引 当 金	71,852	68,806
リコール損失引当金	11,980	7,017
株主優待引当金	1,332	1,332
製 品 補 修 対 策 引 当 金	3,534	55,388
そ の 他	687,858	363,195
固定負債	1,625,482	1,354,898
長期 借入金	1,190,322	942,019
リース債務	281,611	234,064
退職給付に係る負債	53,817	72,847
役員株式給付引当金	43,200	48,200
資 産 除 去 債 務	20,100	20,100
そ の 他	36,431	37,667
負 債 合 計	4,902,860	3,009,593
純 資	産の	部
株主資本	7,928,542	8,339,870
資 本 金	2,499,077	2,507,094
資本 剰余金	2,594,330	2,602,347
利 益 剰 余 金	2,942,134	3,337,428
自 己 株 式	△107,000	△107,000
その他の包括利益累計額	140,265	415,847
その他有価証券評価差額金	△5,039	226,509
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	42,558	79,497
為 替 換 算 調 整 勘 定	31,179	38,258
退職給付に係る調整累計額	71,567	71,582
純 資 産 合 計	8,068,807	8,755,718
負 債 純 資 産 合 計	12,971,668	11,765,311

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書

(単位:千円)

					Ŧ	4		目							前第2四半期累計 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	当第2四半期累計 2021年3月1日から 2021年8月31日まで
売	上											高	5,237,336	7,080,270		
売	上原									価	3,662,443	4,400,726				
売	上 総				利				益	1,574,893	2,679,543					
販	売		費	及		び	-	_		般	管	Ē	理	費	1,672,002	1,875,016
営	業	利	益	Ē	又	18	t	営		業	損	5	ŧ	(\triangle)	△97,108	804,527
営	業外					収				益	17,681	23,195				
営			業				外		費				用	82,025	72,884	
経	常	利	益	Ē	又	18	t	経		常	損	5	ŧ	(\triangle)	△161,452	754,838
特				別						利				益	8,650	915
特	別 損					失	305	779								
税金	等調	整前	四半其	月純和	利益	又は	は税≾	等	調	整前	四半	期純	損失	(\triangle)	△153,107	754,973
法	去 人 税									等	△32,536	262,332				
四	半期	月糸	电利	益	又	. 18	t <u>P</u>		#	期	純	損	失	(△)	△120,570	492,641
親会社	‡株主に	帰属	する四	半期	純利	益又に	親会	社棋	主	こ帰属	する	四半期	月純損気	ŧ (△)	△120,570	492,641

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	前第2四半期累計 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	当第2四半期累計 2021年3月1日から 2021年8月31日まで
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,358,479	938,159
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	154,120	△167,790
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△860,740	△1,573,756
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,518	6,962
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	637,341	△796,425
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	627,055	1,989,568
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,397	1,193,143

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

3

次のフェーズの成長につなげていくための戦略的投資について

中期経営計画で掲げている基本戦略 TWINBIRDブランド価値向上、経営品質の向上、 成長事業の進展を基に、今期は戦略的に大きな投資を実行していきます。

- 1. ブランド価値向上・ビジネスモデル変革
 - 博報堂とのプロジェクトによる 戦略的ブランディング投資
- 2. FPSCの革新的技術による事業展開

より広範なニーズに対応するための 開発投資·事業化投資

3. DX加速による業務改革

DXロードマップに基づく、業務 領域別DX投資・ITインフラ強化投資

■ 2021年度GOOD DESIGN賞 受賞



GOOD DESIGN





今回で7年連続受賞となりました。SC-DF25WL (ディープフリーザー25L、写真左)は、審査委員 より「地域産業の力で短期間に開発し、その結果、 様々な地域へのワクチン可搬を実現させた点が高 く評価できる。」とコメントを頂きました。

·SaaS使用料

·DX人材採用

·IT環境整備

· 生產機能強化

・サービス事業化

・高付加価値商品の開発強化 ・戦略的メディア露出

・お客様とのタッチポイント強化

・新事業領域のエキスパート採用

・業務改革、システム導入支援

・製品機能拡充、プラットフォーム強化

・ファンづくり (体験価値訴求)

ロゴマーク変更/リブランディング・新製品発表会を行いました。

この度、お客様と一対の鳥という社名の由来を大切にしながら、TWINBIRDのロゴマークが生まれ変わりました。 鳥=燕(ツバメ)と定義し、従来のスカイブルーカラーから、不変の黒=ツバメブラックカラーとなり、これからのツインバ ードの新しい展開にふさわしい表現となっています。また、11月より株式会社博報堂との共創にて従来とは違った認知・コ ミュニケーション施策を実行していきます。11/9(火)には、東京渋谷ヒカリエにて、リブランディング及び重点新製品であ るスチームオーブンレンジのメディア発表会を行いました。

新ロゴマーク



公式ホームページ/是非ご体感ください。



11/9 公式ホームページと自社ECサイト が統合リニューアル



ブランドイメージや使い勝手を刷新いたしました。 新しいTWINBIRDの世界をご体感ください。 ※イメージは変更になる場合があります。

11/9 発表新商品スチームオーブンレンジ



せいろで蒸したような本格的な蒸し料理 や低温調理まで楽しめます。シンプルで 分かりやすい操作にこだわった製品です。 2021年度GOOD DESIGN賞受賞。

会社概要/役員の状況/株式の状況

会社の概況 (2021年8月31日現在)

業 1951年3月1日 立 1962年4月17日 金 25億709万円 従業員数 314名 事 業 内 容 家庭用電気機器·家庭用照明器具·

> 製造販売 FPSC及びその応用商品の製造販売

理美容健康器具・電気音響機器の

L	役員の	状况	(202	1年9月	1日現	在)		
代	表 取	締	役 社	上長		野	水	重	明
専	務	取	締	役		佐	藤		勉
社	外	取	締	役		加	藤	善	孝
社	外	取	締	役		萩	原	貴	子
社名	外取締役	(監:	查等氢	委員)		駒	宮	史	博
社名	外取締役	(監:	查等氢	委員)		島	田	正	純
社名	外取締役	(監:	查等氢	委員)		小	村		隆
執	行	í	役	員		小	林	和	則
執	行	í	役	員		髙	木	哲	也
執	行	í	役	員		浅	見	孝	幸
執	行	í	役	員		河	村	吉	章
執	行	í	役	員		宮	井		剛.
+1	/-		′п.	_		\ 	>白	-1:1-	

■本社及び主要な支社・支店・営業所等

本 社	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2 TEL.0256-92-6111 FAX.0256-92-7582					
東京支社	〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-4 ツインバード日本橋ゲートオフィス TEL.03-3663-8771 FAX.03-3663-8640					
大阪支店	〒540-0034 大阪市中央区島町2-4-9 島町第2野村ビル4降 TEL.06-6946-0811 FAX.06-6946-0833					
新潟営業所	〒959-0292 新潟県燕市吉田西太田字潟向2084-2 TEL.0256-92-6119 FAX.0256-93-4422					
名古屋営業所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-14-32 丸の内三丁目ビル3階 TEL.052-231-7551 FAX.052-231-4221					
福岡営業所	〒812-0025 福岡市博多区店屋町6-25 オクターブ店屋町ビル7階 TEL.092-281-2600 FAX.092-281-2601					

■株式の状況 (2021年8月31日現在)

①株式数 発行可能株式総数・・・・・・ 34.000.000株 発行済株式の総数・・・・・・・ 10.843.600株 (自己株式13.592株を含む)

②株主数・・・・・・・・・・・・・ 15.239名

③大株主(上位10名)

株 主 名	持株数	持株比率
	千株	%
株 式 会 社 双 栄	1,190	10.99
ツインバード従業員持株会	329	3.04
株式会社日本政策投資銀行	276	2.55
野 水 重 明	271	2.51
野 水 重 勝	270	2.50
株式会社日本カストディ銀 行 (信 託 口)	259	2.39
野 水 敏 勝	211	1.95
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	119	1.10
株式会社第四北越銀行	109	1.01
あいおいニッセイ同和 損 害 保 険 株 式 会 社	106	0.98

持株比率は自己株式(13,592株)を控除して計算しております。 (表示単位未満の端数を持株数は切捨て、出資比率は四捨五入しております。)